

活動実績報告書

令和 3年 2月15日

登録番号 20200726

氏名 山下 洋史

1. 活動状況

平成 31年 4月 ~ 平成 2年 3月
令和 令和

(記載事項)

① 活動の概要

・森林経営管理制度の推進に向けた市町村、森林組合等への支援及び森林環境譲与税の活用についての市町村への助言・指導。

② 当該活動を挙げた理由

・令和元年度に森林経営管理法が施行され、放置森林の解消に向けた施策が大きく動きだした。しかしながら、森林経営管理制度の実施主体となる市町村においては、林務担当職員が1名にも満たない市町村が多くを占める現状である。そのため、県職員が制度の内容や進め方について指導・助言等を実施しなければ進まないことから市町村の状況等を考慮した上での支援が必要。
・新たに始まる制度であることから、林野庁等から制度についての情報を収集し、各市町村毎の森林の状況や、林務担当職員の配置状況を勘案した上でどのように進めていくのが良いのか技術的な支援を行うこととした。

③ 当該活動におけるあなたの立場と役割

・市町村への技術的支援
・国、県関係課、市町村、森林組合等との調整

④ 活動上発生した課題及びそれへの具体的な対応策

・市町村により、森林への関わり方が異なる(平野部の市町村では開発が主で林業はほとんど行われていない、森林組合が無い、山間部ではあるが人口、森林面積の関係から譲与税学が少ない、譲与税額はかなりあるがどのように進めていくのが決められない等)
・意向調査等を進めるにあたり、ほとんどの市町村において地籍調査が進んでおらず森林境界が不明確、森林所有者がわからないケースが多くあるため、まずは森林境界明確化から始めなければならない。
・年度始めに、市町村担当者を集め、制度の概要等について林野庁担当者による説明会を開催
・上期において、各市町村に対する個別指導(全市町村)
→各市町村毎に状況は異なるため個々への対応が必要なため
・8月に市町村担当者同士での相談ができるよう会議を開催
→市町村担当同士での情報交換等が行えるよう、予算規模や森林・林業への役場の関わり方が近い市町村でのグループを作り意見交換を行った。
・下期において、より具体的な施策等を市町村担当や森林組合等と検討
→要請のある市町村を中心により具体性を持った森林経営管理制度の推進や、森林環境譲与税の活用について指導・年度始めに、市町村担当者を集め、制度の概要等について林野庁担当者による説明会を開催

⑤ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

・森林経営管理制度と森林環境譲与税の活用について市町村毎に丁寧に説明したが、譲与税を十分に活用できない市町村が多く見られたので、引き続き活用事例など紹介しながら助言・指導が必

要である。

・森林境界明確化については、どこから進めていけばよいのかから悩む市町村があることから、過去の航空写真から明確に分かる当時の森林施行の境界から推定する方法について検討している。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

登録番号20200726 氏名 山下洋史

2. 研修の受講状況

研修名 森林管理円滑化対策研修
(実施主体) 一社 全国林業改良普及協会

平成

元年11月

令和

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

注2:2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、

直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特典等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。